



がっこう 学校だより

令和4(2022)年7月19日
横浜市立六浦中学校
8月号

「だれもが 安心して 豊かに」生活できる学校を目指して
合言葉は、「六中6つの『あ』」

六中の「いま」をお伝えします。

7月のようす



体育館に巣を作ったツバメです。長く在籍する職員に聞いても本校にツバメが来るのは珍しい事だとか。巣に埋もれるほど小さかった4羽のヒナは無事に大きく成長しました。ここまでエサを運び続けた親鳥の愛情を思うと頭が下がります。さて巣立った彼らではありますが、いまだに校庭の上を飛んだり昇降口の上で羽を休めたりするなどまだ六中にいます。どうも六中が大好きなようです。



生徒会本部の企画で全校に募集した「六中6つのあ」のキャラクターが決定し披露されました。イラスト部の3年生による力作は、様々な意味と数々のテクニックが盛り込まれた完成度の高いデザインです。言葉とともに六中に長く継がれていくことでしょう。

HPでカラーでみてください！



部活動の持続性については、スポーツ庁や文化庁からの発信が報道されるなど全国的な課題になっています。本校でも保護者や地域の方々と一緒に考えていこうと取り組みはじめてところです。その中で、水泳部の指導員がようやく見つけたことをご報告します。7月から1名、8月からもう1名、計2名が週1日ずつ指導してくれることになりました。4月から自分たちで自己ベスト更新に向けて努力してきた水泳部は、今後専門家の助言でさらなる充実が期待されます。

現在、本校では5つの部活動で7名の指導員にお世話になっています。それは国が描く新しい部活動の在

り方に同調するものです。この流れに乗りながら、六中の部活動も持続可能な形になるように時間をかけて粘り強く模索し続けていきます。保護者や地域の方々にはこれからもご理解とご協力をお願いします。

体育祭が終わり、7月に入りすぐに体育推進委員から六中祭実行委員にバトンが渡され、選曲が始まりました。各クラス選曲委員を募り、放課後にクラスのために動いて自分のクラスにあった曲は何かと一生懸命に選曲していました。また、各クラスで自分たちが選曲したものをプレゼンテーションしている姿が立派でした。

夏休みが始まります。入学式から7月まであっという間の4か月間でした。1学年のみんなはこの4か月で、新しい仲間と出会い、新しい環境の中で過ごしてきて、楽しいことや困ったことなど様々なことがあったと思いますが、それをへて今成長しているのだと実感しています。さて、次に会えるのは夏休み明けになりますが、緑学年の皆さんと会えるのを学年職員一同より楽しみにしています。

第一回アオハル、カップ

クラス対抗の綱取りを行いました。練習試合→作戦会議を繰り返し、試行錯誤した自分たちだけの想いのこもった作戦で勝負しました。試合前には円陣を組む様子が見られ、クラスの団結が高まっている姿が見られました。勝って嬉しい、負けて悔しいという、何にも代え難い体験をしました。

合唱コンクールに向けた選曲

選曲に向けて各クラスで実行委員を中心とした選曲委員会を組織しました。そのメンバーで数ある候補曲の中から自分たちらしい5曲を選び、学活でクラス全員が聴きました。クラスで曲を聴く際には、選曲委員が曲の解説や選んだ理由を熱弁する姿が見られ、アツい想いのこもった魂の一曲が決まりました。

1組「HEIWAの鐘」

2組「手紙」

3組「時の旅人」

夏のシッシ甲子園～優勝4組～

夏休みを前に、学級委員の計画・運営による学年レクをおこないました。競技は「目指せ制球王」「ドラゴンボール」「己との戦い」。学級委員が考える競技はネーミング、内容共におもしろくて、おおいに盛り上がりました。

7月21日 出前高等学校説明会

15日の進路学習で学校説明会参加報告書を配付しました。学校説明会や体験の記録を記入し、今後の進路選択の資料にしてください。

有意義な夏休みを！

夏休みは計画的に有意義に過ごしてほしいと思います。学習面では、これまでの復習や発展的な学習など自分がステップアップできるように取り組みましょう。また、学校説明会に積極的に参加し、自分の進路について考えることも大切です。そして、おおいに遊んだり、ゆっくりと心や体を休める時間も作ってほしいと思います。

むっちゅうせい ばめん かつやく
六中生、いろいろな場面で活躍しています！

● **横浜子ども会議が行われました**

むつうちゅう せいとかい せいと むつうらしょう せがさきしょう
 六浦中の生徒会の生徒、六浦小と瀬ヶ崎小の
 うんえいいんかい じどう いごこち がっこうづく
 運営委員会の児童が「居心地のよい学校作り」という
 てーま はな あ がっこう と く
 テーマのもと、話し合いをして学校で取り組んで
 いけることを考えました。
 かんが
 活発な議論がされていて素晴らしかったです。



● **非行・被害防止サミット**

かなざわく ちゅうがっこう だいひょうしゃ かなざわけいさつしよ かつ
 金沢区の中学校の代表者と、金沢警察署の方が
 いっしょ こ きはんいしき こうじょう めざ
 一緒になって、子どもの規範意識の向上を目指し、
 はんざいひがいぼうし かいぎ
 犯罪被害防止などについての会議をしました。
 むつうちゅう せいとかい さんか
 六浦中からは生徒会が参加しました。
 がつ はっぴょうご がっこう ほうこく よてい
 11月の発表後には、学校で報告をする予定でいます。



6つの「あ」の中の一つに「当たり前」という言葉があります。「当たり前」の反対は
 ありがた げんたい ありがた おも かん ばめん すく
 「有難い」です。現代において「有難い」という思いを感じることができる場面は少なくなっ
 てきていると感じています。

そこで、中学校では自分がどうしても達成したいことなどを見つけてみるとよいと思いま
 す。「高校でこんなことをやりたいからこの高校に行くために勉強する」「部活動やクラブ活動
 でレベルを高めていきたい」など達成したい目標は人それぞれだと思えます。どんな目標で
 も一生懸命にやるからこそ、周囲の支えの有難さに気付くのかと思えます。

もし、心からの「ありがとう」が言えるようなときが訪れると、新しい自分に出会える
 かもしれません。